

寒川進氏による講演会（平成30年1月18日（木））



1月18日（木）、西京区大枝小学校で寒川進氏による講演会が開催されました。

講演会には、大枝小学校の5年生と6年生の約100人が参加され、寒川氏の障害を負った時やリハビリに取り組んでいる時の心境、競技に対する想いに傾聴されました。

高校卒業後、市内の企業に就職したものの20歳の時に事故で半身不随となったこと、職場復帰がなかなか会社に認められなかったこと、長期間の辛いリハビリの時に沿道で観戦した「車イス駅伝」に衝撃を受け競技者を目指したことなど、競技者になるまでの苦難や競技との出会いなどを話されました。

そして、競技者となってからは、自宅のベランダにランニングマシンを設置し、その上でトレーニングを行う映像を見ながら、単調な練習でも目標を持って取り組むことで飽きることなくトレーニングを続けられたこと、大会に出場して周りのレベルの高さを感じることで更なるトレーニングに励むことができたことなど、障害の有無に関わらず自分を高められる方法を子ども達に語られました。

そして、競技用の車いすの構造や特徴の説明、実際に寒川氏が乗ってデモンストレーションを行われた後、一人の小学生が寒川氏の競技用車いすに乗り、体育館内を1周する体験を行いました。操作の難しさに悪戦苦闘するものの、貴重な体験となりました。

最後に、寒川氏は「私はこの競技に出会えてとてもラッキーだった。障害を負ってしまったことはしょうがないが、その上で、他人より頑張っていると思ってもらいたいし、家族の誇りになれるよう、これからも頑張りたい。」と語られ、子ども達には、「スポーツとの関わり方は、楽しむことや健康、そして競技者など様々である。自分が長く続けられる、本当にしたいことに出会ってほしい。」と締めくくられました。